

20幹第128号
平成20年10月16日

国土交通省道路局長 様

福島市長 瀬戸孝則



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありました標記の件について、別紙のとおり回答いたします。

担 当： 福島市建設部幹線高速道路課幹線道路係
電話 024-535-1111 内線4162
直通 024-525-3770

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

福島県福島市

○今後の道路整備について

- ・今までは大都市を中心に道路整備をしてきたが、地方は公共交通網が未完成で、物流や人の移動手段には車両利用の依存度が高く、真に道路整備が必要なのは地方であり、地方の道路整備を優先してほしい。
- ・近年地震や大雨による災害が頻発して、広域的、遠距離的な支援が必要になっていると共に、観光圏など魅力ある観光地づくりにおいても、広域連携の軸として高速道路や高規格道路のネットワーク化が必要なことから、早急な道路整備を望む。

○道路の有効活用について

- ・中心市街地ににぎわいを取り戻すということを考えたとき、国道13号福島西道路を国道4号まで南伸し、通過車両を街なかから迂回させることにより、街なかの国道13号を使った中心市街地活性化のツールとしての活用ができないか。
- ・道づくりへ地域住民が積極的に参加し、地域のまちづくりと一体となり、昔の街道名で呼び、道路沿いでも子どもが安心して遊び、人が集まり楽しめるような親しみのあるものとなるような道づくりができないか。

②－１ 地域の現状と抱える課題

福島県福島市

○現状 ・国道１３号福島西道路は、市内の放射状の幹線道路を環状になぎ、道路のネットワークとして効果的に機能し、交通混雑の緩和が期待されるが、現在整備途中のため、環状道路・バイパスとしての機能が十分にはたされていない。 また、国道４号まで南伸していないため、高度救急医療施設の福島医大へのアクセスが良くない。 ・福島と相馬を結ぶ国道１１５号は、山間部を通過する狭隘で急勾配の道路であるため大型車両が通行できず、相馬港の使用が限定されるため、仙台港や横浜港を使用して物資を輸送せざるを得ず、物流に時間とコストが掛かり、企業進出のネックとなっている。 急峻な地形のため落石崩落等により通行止めが発生すると、迂回に２倍以上の時間を費やすため、医療・物流・観光等に悪影響を及ぼしている。 また、福島市・相馬市・伊達市・二本松市の４市で連携する「やさしさと自然の温もりふくしま観光圏」は、体験型観光やバリアフリー観光など滞在の促進を図る上で、中通りと相双地域を結ぶ幹線道路である国道１１５号の狭隘で急勾配な道路現況がネックとなっている。	○課題 ・中心市街地と郊外を結ぶ放射状道路や、中心部の通過交通を排除する環状道路などの主要幹線道路の早急な整備が必要である。 特に、国道１３号福島西道路の国道４号までの南伸については、中心市街地を通らず迂回させることで渋滞の解消を図り、また、命を守る道路として医大へのアクセス向上を図るためにも、早期の着手、完成が必要である。 ・相馬港との円滑な物流や企業誘致など地域経済の活性化を図る上で、時間の短縮とコスト縮減が可能な新直轄方式による高規格道路の早期整備が重要課題となっている。 また、地域住民の安全・安心のほか、「やさしさと自然の温もりふくしま観光圏」においても、相互の地域間交流を深め集客数を増やすため、早期整備が必要である。
--	--

②－２地域の目指すべき将来像

福島県福島市

- ・本市は東京から２５０キロ圏内にあり、首都圏と東北圏、太平洋圏と日本海圏を結ぶ高速交通網の整備がされ、また、主要道路が東西南北に延びていることから、南東北の交通の結節点として重要な役割を果たしていく。
- ・首都圏で大雨や地震などの災害が発生した場合、本市は迅速に支援ができる基地としての役割を果たしていく。
- ・本市は、東京から身近な位置にあり、自然豊かで温泉に恵まれ、季節のくだものが豊富で、春の花見山をはじめとして四季を通した観光スポットも数多くあることから、隣接市との連携により「やさしさと自然の温もりふくしま観光圏」が認定され、高速道路・高規格道路などのさらなる幹線道路の整備で、これまで以上に観光都市として重要な役割を果たしていく。
- ・本市から約５０km の位置に重要港湾相馬港があり、国道１１５号の高規格道路化により、南東北の物流の拠点として重要な役割を果たしていく。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

福島県福島市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
国道１３号福島西道路の南伸	国道４号伏拝交差点附近の慢性的な渋滞	国道１３号福島西道路の国道４号までの南伸の完成により、中心市街地の通過交通排除による渋滞解消と、街なかを通る現道の利活用が期待される。	
国道１１５号福島～相馬間の高規格道路化	阿武隈高地を通る国道で、急峻な地形のため落石崩落や大雨、積雪により通行に支障をきたす事が多く、国道４号・６号を迂回した場合にはかなりの時間を費やすことから恒常的な活用ができない。	現在工事が進められている阿武隈東道路や、新規で事業採択された霊山道路が整備されることにより約１５分の短縮が図れるとともに、安全で恒常的な活用が期待される。 高規格道路化により、医療・物流・観光・都市間交流等、相当の整備効果が期待される。	